

テーマ：『 地域保全に着目した理科学習の創造 』

宇都宮市立 築瀬小学校

Tel. 028-633-0363

担当者： 安西 理子



■実践内容：

築瀬小学校では、今年度は本格的に理科学習や環境学習で利用できるよう、昨年に引き続き、中庭の環境整備を全校児童で行った。自然科学クラブでは、各学年が教材園として利用しやすいように植物名を調べ表示した。栽培委員会では、植物や野菜の苗を移植し観察しやすい環境にした。11月には、落ち葉を全校生で拾い腐葉土にし、再利用するための堆肥場を設置した。学習活動としては、1・2年生は、生活科で虫や草花との触れ合いを行い、ミニトマトを収穫した。3年生は理科の植物と昆虫調べで、4年生は理科でヒョウタンの栽培・観察、5年生はクロメダカの観察や気象観測・米作りを行い、各学年に頻繁に利用される場となった。総合的な学習で、環境について考えるきっかけとなったり、全校生で環境に関わる場となったりしている。こうした取り組みや中庭の自然については、学校ホームページで公開している。

■実践成果：

周りに自然環境が失われつつある地区であるが、中庭の環境を整えたことで、生き物や植物と触れ合うことが増え、様々な気づきがあった。また、継続的観察も行うことができ観察している動植物への愛情も深まった。自分たちで様々な活動をし、中庭を作り上げたことにより、自然を身近に感じ大切にしようという思いを持つことができた。今年度は、落ち葉を腐葉土に変え再利用する活動・気象状況を調べる活動を加えたことでさらに環境についての理解と関心が深まった。

■実践ポイント：

どの活動にも児童が主体的に関わることにより、環境について理解を深めていくようにさせたい。また、環境と人がつながっていることも理解させていくために、体験活動を取り入れながら継続的に関わるができるようにしていく。